

製品名: BBS4 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM85953

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:400
分子量	58.3kDa

抗原情報

遺伝子名	BBS4
別名	Bardet-Biedl syndrome 4 protein, BBS4
遺伝子 ID	585.0
SwissProt ID	Q96RK4
免疫原	この BBS4 抗体は、ヒト BBS4 の 1 ~ 240 アミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

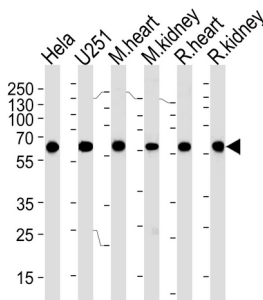
背景

BBSome 複合体は、特定の膜タンパク質を一次繊毛へ選別するために必要なコート複合体として機能すると考えられています

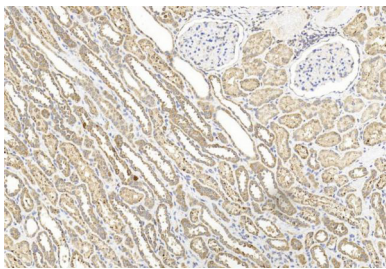
す。BBSome 複合体は繊毛形成に必須ですが、中心小体サテライト機能には不要です。この繊毛形成機能は、基底小体に局在し BBSome と接触する Rab8 GDP/GTP 交換因子によって部分的に媒介されます。Rab8(GTP)は一次繊毛に入り、繊毛膜の伸展を促進します。まず、BBSome は繊毛膜と会合し、Rab8 のグアノシル交換因子 (GEF) である RAB3IP/Rabin8 に結合します。次に、Rab8-GTP が繊毛に局在し、繊毛膜基部へのキャリア小胞のドッキングと融合を促進します。BBSome 複合体は LTZL1 と共に SMO 繊毛輸送を制御し、ソニックヘッジホッグ (SHH) 経路の調節に寄与する。BBSome 複合体の適切な組み立てと繊毛への局在に必要である。中心体への微小管の固定には必要であるが、微小管の核形成には必要ではない。ダイニンを介した中心体周囲タンパク質の中心体への輸送に必要である可能性がある。

研究分野

画像データ



Hela 細胞、U251 細胞株、マウス心臓および腎臓、ラット心臓および腎臓組織 (左から右へ) のライセートを BBS4 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。BBS4 マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 35 μ g。



BBS4 (カタログ番号 am2250b) を用いたパラフィン包埋ヒト腎臓切片の免疫組織化学染色。am2250b は 1:250 に希釈した。二次抗体として、希釈していないビオチン化ヤギ多価抗体を使用し、DAB 染色を行った。